

発行者 日本労務学会広報委員会
(委員長：坂爪洋美)
<http://jshrm.scholars.jp>

日本労務学会
【本部事務局】慶應義塾大学 清家篤研究室
【連絡先】日本労務学会リエゾンオフィス
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F
株式会社国際ビジネス研究センター内
TEL 03-5273-0473 FAX 03-3203-5964
E-mail: jshrm@ibi-japan.co.jp

日本労務学会会報 VOL. 95

2016. 5. 6

NEWS

Japan Society of Human Resource Management

日本労務学会第 46 回全国大会の開催について

日本労務学会第 46 回全国大会

実行委員長 石田 光男（同志社大学）



日本労務学会第 46 回全国大会を、「雇用システムの新展開－雇用ポートフォリオの理論から実践へ－」という統一論題の下、2016 年 6 月 24 日から 6 月 26 日に同志社大学今出川キャンパスにおいて開催いたします。

同志社大学での開催は 1991 年以来、四半世紀ぶりの開催となります。この間の環境変化は、それ以前の歴史的にも稀有な成長の時代との対比で、実に激しくかつ厳しい変化でした。いつの時代でも、枕詞として激動の時代と言われることが多いのですが、過去四半世紀の変化は、枕詞でなく、実態的、構造的変化を雇用の世界にも与えた「深い」変化でした。このような時代に、雇用労働研究の伝統ある学会の開催校をお引き受けできますことを、私ども実行委員一同、この上なく光栄に思っております。

統一論題は、このような、雇用制度の構造的変化をどのように認識し、どのような実践的含意を引き出すべきかという、この学会にとって非常に根源的な問いを主題としています。会報 94 号で、平野光俊プログラム委員長は、「理論と実践を架橋する公正な雇用ポートフォリオ」が求められていると説明されています。熱い議論が期待されます。

特別講演では、イオンリテール（株）の人事の企画と実践に従事されてこられた二宮大祐様をお招きして、「イオンリテールにおける雇用システムの新展開」という論題で、統一論題の議論に直結する、この分野の先端的事情をお話いただきます。

また、自由論題は、53 件の報告が、二日間にわたって延べ、16 会場で報告されます。熱心で忌憚のない議論を通じて、報告者、参加者個々人にとって学問研究の方向性を確認し、更なる研鑽への意欲を確かにする機会になることを期待します。

なお、6 月 25 日（土曜日）には、御所の東側にある新島会館にて懇親会を開催致します。学会の英語表記の Society は、「人々がそこで互いに交わり、触発し合い、高め合う場」という意味であると、清家篤会長が述べられています。全く同感です。Society にふさわしい大会となりますように、微力ではありますが、開催校として、条件整備の役割を勤めさせていただきます。

皆様と京都の地でお会いできますことを心待ちにしております。

日 本 労 務 学 会

第 46 回全国大会プログラム

〈統一論題〉

雇用システムの新展開－雇用ポートフォリオの理論から実践へ－

〈シンポジウム〉

雇用ポートフォリオの編成と正社員の行方

日 時：2016 年 6 月 24 日（金）～6 月 26 日（日）

会 場：同志社大学（今出川キャンパス）

（大会日程概要）

6 月 24 日（金）	
13：30～	日本労務学会賞（学術賞）審査委員会（徳照館 1F 会議室） 日本労務学会賞（研究奨励賞）審査委員会（神学館 1F 会議室） 機関誌編集委員会（至誠館 3F 会議室）
15：00～	常任理事会（徳照館 1F 会議室）
17：00～	理事会（至誠館 3F 会議室）
6 月 25 日（土）	
9：00～	受付（良心館 1F ルーセントプラザ）
9：30～9：45	開会式（良心館 1F RY 107）
10：00～12：10	自由論題報告
12：10～13：10	昼食休憩 会員控室（良心館 1F RY 106, 4F RY 409） 大会本部（良心館 4F RY 410） 理事会（良心館 1F RY 105） シンポジウム・パネリスト控室（良心館 4F RY 412）
13：10～14：00	特別講演（良心館 1F RY 107）
14：10～17：00	統一論題・シンポジウム（良心館 1F RY 107）
17：10～18：10	会員総会（良心館 1F RY 107）
～移動～	
19：00～21：00	懇親会（新島会館本館 2F 会議室 F（大ホール））
6 月 26 日（日）	
9：00～	受付（良心館 1F ルーセントプラザ） 会員控室（良心館 1F RY 106, 4F RY 409） 大会本部（良心館 4F RY 410）
9：30～12：25	自由論題報告
12：30～	閉会式（良心館 1F RY 107）

6月25日(土)

同志社大学今出川キャンパス

9:00～ 受付開始(良心館1F ルーセントプラザ)

9:30～ 9:45 開会式(良心館1F RY107)
開会挨拶 石田光男(大会実行委員長 同志社大学)

10:00～12:10 自由論題報告(良心館4F): 報告25分、コメント5分、質疑10分

A会場(良心館4F RY401)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	三輪卓己 (京都産業大学)	坂本理郎 (大手前大学) 西尾久美子 (京都女子大学)	職務特性がキャリア初期のデベロップメンタル・ネットワークの構造に与える影響について - 中規模造船企業における事例研究 -	小野公一 (亜細亜大学)
10:45 ～11:25		池田梨恵子 (同志社大学大学院)	高レベル大学看護学科卒業者の看護職資格取得後のキャリア - 看護職、一般企業総合職、医療専門職への展開 -	小野公一 (亜細亜大学)

B会場(良心館4F RY402)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	本田一成 (國學院大學)	高崎美佐 (東京大学大学院) 中原 淳 (東京大学)	大学生の就職における情報探索が自己と仕事に関する認知変化に与える影響 - 企業に関する情報収集の媒介効果に着目して -	尾形真実哉 (甲南大学)
10:45 ～11:25		余合 淳 (岡山大学)	正社員登用制度が従業員の公正感に及ぼす影響に関する一考察 - 転換の難易度に着目した実証分析 -	尾形真実哉 (甲南大学)
11:30 ～12:10		野村かすみ (東京大学大学院)	大型小売業の要員編成メカニズムに影響を与える要因に関する考察	本田一成 (國學院大學)

C会場(良心館4F RY403)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	佐藤博樹 (中央大学)	江島恒一 (リクルートスタッフィング) 石山恒貴 (法政大学)	登録型派遣労働者の出産後における再就業の阻害要因とは - 産休・育休取得有無と再就業の関係性についての検証 -	坂爪洋美 (法政大学)
10:45 ～11:25		来代美佳 (法政大学大学院)	女性管理職育成に関する一考察 - 高業績管理職の日常行動の特徴、習得過程とキャリア意識の変化に関する分析 -	佐藤博樹 (中央大学)
11:30 ～12:10		玉木 舞 (日本政策金融公庫)	女性の活躍を阻害しない両立支援のあり方 - 管理職の部下マネジメントに着目して -	坂爪洋美 (法政大学)

D 会場（良心館 4F RY 404）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	福谷正信 (立命館アジア 太平洋大学)	万 涛 (中国西安工業大学)	中国経済成長の転換期における企業技術革新 チーム衝突とイノベーションパフォーマンス の関係に関する研究	福谷正信 (立命館アジア 太平洋大学)
10:45 ～11:25		奥田孝之 (法政大学大学院)	技術者の成長要因に関する研究 – 機械設計 技術者の事例から –	開本浩矢 (兵庫県立大学)
11:30 ～12:10		義村敦子 (成蹊大学) 田中秀樹 (青森公立大学)	研究開発者の知識共有行動を促進する要因に 関する研究	開本浩矢 (兵庫県立大学)

E 会場（良心館 4F RY 405）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	江夏幾多郎 (名古屋大学)	酒井之子 (中央大学大学院)	ダイバーシティ経営に適合する人事管理シス テムのあり方 – 日本企業の事例研究から –	江夏幾多郎 (名古屋大学)
10:45 ～11:25		武石恵美子 (法政大学)	ダイバーシティ推進における「転勤政策」の 課題	富田安信 (同志社大学)
11:30 ～12:10		松原光代 (学習院大学)	転勤が総合職の能力開発に与える効果	富田安信 (同志社大学)

F 会場（良心館 4F RY 406）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	廣石忠司 (専修大学)	及川 彰 (リコー)	労働審判の成功要因	廣石忠司 (専修大学)
10:45 ～11:25		中井正郎 (関西経済連合会)	90年代の産業政策の概要とその特徴 – 企 業改革を見る視点 –	安 熙卓 (九州産業大学)
11:30 ～12:10		金 明中 (ニッセイ基礎研究所)	日韓における非正規雇用労働者の現状や政府 対策に対する比較分析	安 熙卓 (九州産業大学)

G 会場（良心館 4F RY 407）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	脇坂 明 (学習院大学)	岸野早希 (神戸大学大学院)	ワーク・ライフ・ファシリテーションのクロ スオーバー効果に関する研究	池田心豪 (労働政策研究・ 研修機構)
10:45 ～11:25		小泉大輔 (大阪国際大学)	内部労働市場における人事施策と女性従業員 のキャリア	池田心豪 (労働政策研究・ 研修機構)
11:30 ～12:10		腰前弘子 (法政大学大学院)	働く 50 代女性のワーク・ライフ・バランス 満足度 – 職場風土と希望充足度との関係よ り –	脇坂 明 (学習院大学)

H 会場（良心館 4 F RY 408）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:00 ～10:40	白木三秀 (早稲田大学)	林 新奇 (中国人民大学)	About the HHP Model of HRM: A Comparison of Japanese, American and Chinese Human Resource Management Models	白木三秀 (早稲田大学)
10:45 ～11:25		岡嶋裕子 (大阪大学)	グローバル人材に求められる能力とは ー在米卒業生調査からの考察ー	森田雅也 (関西大学)
11:30 ～12:10		高木朋代 (敬愛大学)	高年齢者・障害者差別と雇用に関する国際比較	森田雅也 (関西大学)

★ 会員控室、昼食会場は、良心館 1 F RY 106、4 F RY 409 です。

★ 大会本部は、良心館 4 F RY 410 です。

13:10～14:00 特別講演（良心館 1 F RY 107）

講演者：二宮大祐 氏（イオンリテール株式会社 執行役員 人事・総務本部長）

演 題：「イオンリテールにおける雇用システムの新展開」

司 会：石田光男（大会実行委員長 同志社大学）

14:10～17:00 統一論題・シンポジウム（良心館 1 F RY 107）

〈統一論題〉雇用システムの新展開ー雇用ポートフォリオの理論から実践へー

〈シンポジウム〉雇用ポートフォリオの編成と正社員の行方

報告 30 分、討議 60 分

座 長：平野光俊（プログラム委員長 神戸大学）

パネリスト：守島基博（一橋大学）

（敬称略・発表順）「正社員ポートフォリオの展開と人事管理の未来」

中村圭介（法政大学）

「雇用ポートフォリオの編成原理 ー事例研究からモデルをー」

大内伸哉（神戸大学）

「労働法の改正が雇用ポートフォリオに与えるインパクト」

二宮大祐（イオンリテール株式会社）

17:10～18:10 会員総会（良心館 1 F RY 107）

19:00～21:00 懇親会（新島会館本館 2 F 会議室 F（大ホール））

6月26日(日)

同志社大学今出川キャンパス

9:00～ 受付開始(良心館1F ルーセントプラザ)

9:30～12:25 自由論題報告(良心館4F): 報告25分、コメント5分、質疑10分

A会場(良心館4F RY401)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	武石恵美子 (法政大学)	細萱伸子 (上智大学) 大内章子 (関西学院大学)	大卒・院卒ワーキングマザーの戦略的キャリア形成 - 転職経験者の事例を中心に -	武石恵美子 (法政大学)
10:15 ～10:55		横山真紀 (お茶の水女子大学 大学院)	子どものいる女性正社員の活用とマミートラックの実態	武石恵美子 (法政大学)
11:00 ～11:40		平本奈央子	柔軟で多様な働き方に関する一考察 - コース別雇用管理制度における一般職第二世代を対象に -	大内章子 (関西学院大学)
11:45 ～12:25		福田隆巳 (東京大学大学院)	既婚女性の労働時間と諸満足度	大内章子 (関西学院大学)

B会場(良心館4F RY402)

	司会	報告者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	八代充史 (慶應義塾大学)	梅崎 修 (法政大学) 島貫智行 (一橋大学) 佐藤博樹 (中央大学)	中小企業の人事制度・施策と経営成果 - なぜ人事制度・施策の導入率が低いのか -	八代充史 (慶應義塾大学)
10:15 ～10:55		桜井 創	金融業界における社員格付制度の変化 - 大量採用時代の採用とその後の昇進管理 -	八代充史 (慶應義塾大学)
11:00 ～11:40		山本 寛 (青山学院大学)	エンプロイアビリティの国際比較 - 日本とイギリスの組織従業員の比較の観点から -	西村孝史 (首都大学東京)
11:45 ～12:25		田中秀樹 (青森公立大学)	知覚された人的資源管理施策・方針が技術者の定着意思に及ぼす影響に関する研究	西村孝史 (首都大学東京)

C 会場（良心館 4 F RY 403）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	中田喜文 (同志社大学)	藤井英彦 (大阪大学大学院) 松繁寿和 (大阪大学)	仕事の満足度の要因に関するパネル分析	中田喜文 (同志社大学)
10:15 ～10:55		李 林暉 (大阪大学大学院)	中国における科学技術者のキャリアと成果に関する実証研究	中田喜文 (同志社大学)
11:00 ～11:40		荻布 彦 (大阪大学大学院)	仕事で報いる方式が仕事の満足度に与える効果について －役職や仕事上の裁量が仕事満足度に与える影響を中心に－	勇上和史 (神戸大学)
11:45 ～12:25		石塚史樹 (東北大学)	「成果主義」導入以前のマネージャー層の俸給 －ドイツ企業の事例－	勇上和史 (神戸大学)

D 会場（良心館 4 F RY 404）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	内田恭彦 (山口大学)	島田善道 (神戸大学大学院)	日本企業におけるグローバルリーダー研究にむけて －組織編成原理に着眼して－	内田恭彦 (山口大学)
10:15 ～10:55		須田敏子 (青山学院大学)	ワークモチベーションに関する国際比較 －日独露のビジネススクール学生から探る－	内田恭彦 (山口大学)
11:00 ～11:40		吉田 寿 (中央大学) 中島 豊 (中央大学)	経営理念が社員満足度に与える影響	太田 肇 (同志社大学)
11:45 ～12:25		柿沼英樹 (環太平洋大学)	ベトナム人大学生の言語能力・キャリア志向と企業選択行動	太田 肇 (同志社大学)

E 会場（良心館 4 F RY 405）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
9:30 ～10:10	亀野 淳 (北海道大学)	細見正樹 (兵庫県立大学)	大学生の学習と起業意欲 －共分散構造分析を用いた心理的プロセスの実証分析－	森永雄太 (武蔵大学)
10:15 ～10:55		永井恵一 (東洋大学) 原田 大 (権現坂総合研究所) 島川 崇 (東洋大学)	大学におけるリーダーシップ教育に関する考察	森永雄太 (武蔵大学)
11:00 ～11:40		大嶋淳俊 (いわき明星大学)	ビジネス基礎力習得のための実践的な経済・経営教育の試み	亀野 淳 (北海道大学)
11:45 ～12:25		大八木智一 (静岡大学)	産学連携によるインターンシップの継続的実施にむけた大学の役割と課題	亀野 淳 (北海道大学)

F 会場（良心館 4 F RY 406）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:15 ～10:55	佐藤一磨 (明海大学)	西村 健 (松山大学)	学歴と企業規模から見た情報技術者の労働市場 – 初職からの離職行動に着目して –	佐藤一磨 (明海大学)
11:00 ～11:40		川村一真 (山口大学)	戦間期鐘紡職員の処遇の決定方法 – その実態と機能 –	中嶋哲夫 (MBO 実践 支援センター)
11:45 ～12:25		岡本 弥 (神戸学院大学) 松浦 司 (中央大学)	労働組合が賃金に与える効果 – ガバナンス要因を考慮した分析 –	中嶋哲夫 (MBO 実践 支援センター)

G 会場（良心館 4 F RY 407）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:15 ～10:55	蔡 芒錫 (専修大学)	草野千秋 (文京学院大学) 松山一紀 (近畿大学)	現代日本の企業組織に適合的なフォロワーシップ	蔡 芒錫 (専修大学)
11:00 ～11:40		加藤 昭 (広島大学大学院)	パーソナリティの調和性、Perceived Insider Status が心理的エンパワメントに及ぼす影響について	松山一紀 (近畿大学)
11:45 ～12:25		大上麻海 (広島大学大学院)	向社会的モチベーションとアイデア実現の関連に関する研究	松山一紀 (近畿大学)

H 会場（良心館 4 F RY 408）

	司 会	報 告 者	論 題	コメンテーター
10:15 ～10:55	上林憲雄 (神戸大学)	橋口三千代	企業規模と技能形成 – 特殊訓練を受けたイギリス人熟練労働者の事例を中心に –	上林憲雄 (神戸大学)
11:00 ～11:40		竇 少杰 (立命館大学)	中国企業の生産現場の真実 – 中国企業の生産現場における労使関係の展開 –	戎野淑子 (立正大学)
11:45 ～12:25		米岡秀真 (名古屋大学大学院) 江夏幾多郎 (名古屋大学)	職員構成の歪みが自治体人事と財政に与える影響 – 退職イベントを契機とした職員構成の安定化方策に関する実証分析 –	戎野淑子 (立正大学)

★ 会員控室、昼食会場は、良心館 1 F RY 106、4 F RY 409 です。

★ 大会本部は、良心館 4 F RY 410 です。

12:30～ 閉会式（良心館 1 F RY 107）
閉会挨拶 石田光男（大会実行委員長 同志社大学）

参加要領

1. 申込方法

- 同封の出欠確認はがきに該当事項を記入の上、6月3日（金）までに投函してください。
- 大会に参加される方は、同封の振替用紙にて、6月10日（金）までに参加費等を振り込んでください。

2. 参加費等

		事前振込	当日支払
一般会員	大会参加費	5000 円	6000 円
	懇親会費	6000 円	7000 円
大学院生会員	大会参加費	3000 円	4000 円
	懇親会費	3000 円	4000 円
非会員	大会参加費	－	6000 円
	懇親会費	－	7000 円

3. 振込口座

- 口座名：日本労務学会第46回全国大会実行委員会
- 口座番号：00910-0-209797
(振替用紙に金額は印字しておりませんので、大会参加費、懇親会費をご確認の上、振り込んでください。)

4. 自由論題報告にあたって

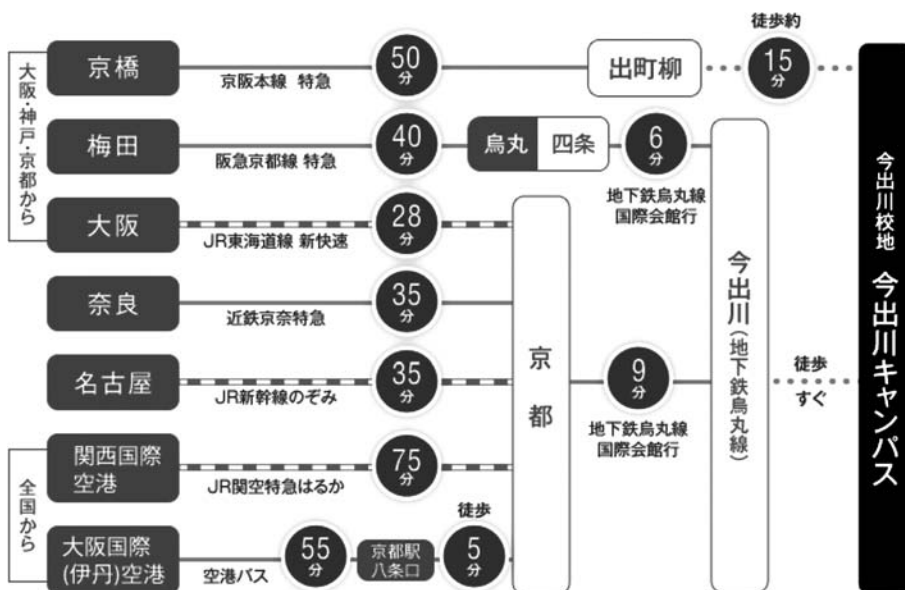
- 一報告につき、報告25分、コメント5分、質疑10分で構成されます。
- 各会場にはパソコンが常設されておりますので、報告の際は基本的にこの常設パソコンをご使用ください。基本構成は以下の通りです。
形式：CF-SX3
OS：ウインドウズ8.1 エンタープライズ
Office 2010 インストール済み
USB 端子あり
PC カードスロットなし
CD-ROM ドライブおよびDVD-ROM ドライブ内蔵
解像度 1280×720
- 報告の際に資料配布を希望される場合は、各自で必要部数（40部程度）をご準備の上、各会場担当の大会スタッフに配布をご依頼ください。
- 大会会場での資料印刷等は対応できかねますので、各自で周辺のコンビニ等をご利用ください。

5. 宿泊・食事等

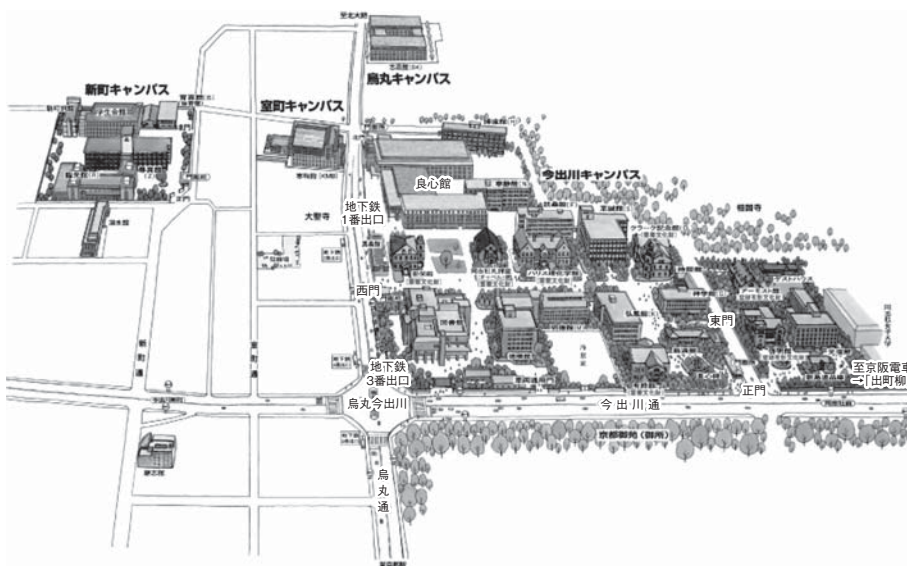
- 大会実行委員会では、宿泊先および食事の手配は一切いたしません。
- ご参加いただくにあたり、宿泊先の確保に相当の困難が予想されます。各自でどうぞお早めにご予約いただけますようお願い申し上げます。なお、会場の同志社大学今出川キャンパスは交通至便な場所にあり、大阪や滋賀に宿泊されても30分～1時間でアクセス可能です。
- 6月24日（金）・25日（土）は、今出川キャンパス内の①良心館生協食堂（約450席）、②良心館コンビニ、③良心館ベーカーリーカフェ、室町キャンパス内の④フレンチレストラン will（約40席）、⑤アマーク・ド・バラディ寒梅館（約140席）等が営業しております（④⑤は6月26日（日）も営業）。

6. 大会会場へのご案内

- 交通アクセス：京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅徒歩1分
京阪電車「出町柳」駅徒歩15分



京都市営地下鉄 烏丸線今出川駅1・3番出口からすぐです。

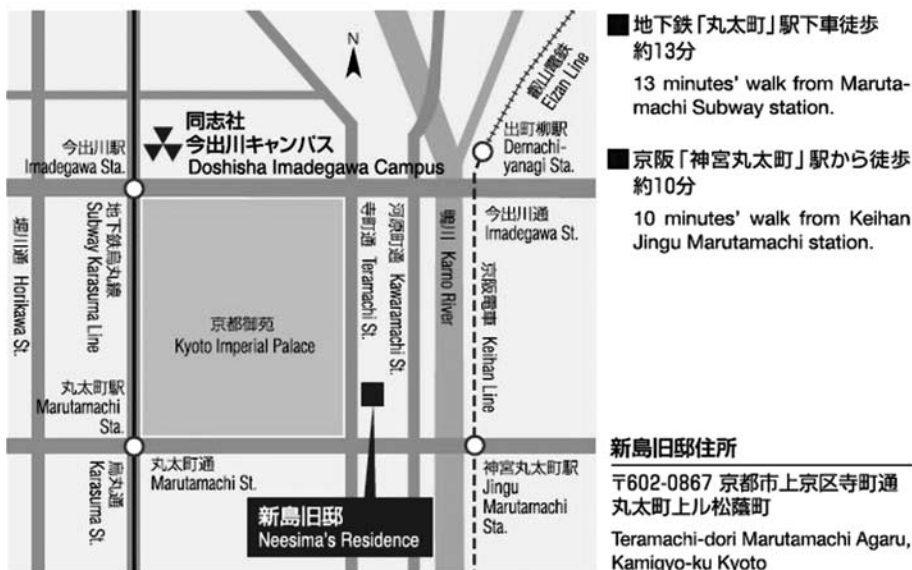


- 大会は今出川キャンパス内の良心館の各教室で実施します。

7. 懇親会会場へのご案内

- ・懇親会会場：新島会館／新島旧邸（〒602-0867 京都市上京区寺町通丸太町上ル）
 - ・交通アクセス：同志社大学今出川キャンパス徒歩 30 分（タクシー 5 分）
- 当日は、総会終了後に、大会会場から移動用のバスを手配いたします。

アクセスマップ Access Map



第 46 回全国大会実行委員会

実行委員長：石田光男

副実行委員長：鈴木良始

実行委員：岩月真也、上田眞士、浦坂純子、太田 肇、中村艶子

連絡先：〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学「日本労務学会第 46 回全国大会実行委員会」

住所変更の際はご一報を！

会員の皆様におかれましてご住所・連絡先・所属機関などの変更がございましたら、本部事務局あるいは下記連絡先へすみやかにご連絡ください。

送付物を確実にお届けするため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【連絡先】 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3 F

株式会社国際ビジネス研究センター内

日本労務学会リエゾンオフィス

TEL : 03-5273-0473 FAX : 03-3203-5964

E-mail : jshrm@ibi-japan.co.jp

第 95 回 理事会 議事録

日時：2015 年 12 月 20 日（日）14:00～17:00

会場：専修大学 神田キャンパス

大学院棟（7 号館 8 階）784 教室

出席者：（敬称略、50 音順）

〔会長〕 清家篤

〔副会長〕 石田光男、平野光俊

〔常任理事〕 石毛昭範、太田肇、上林憲雄、坂爪洋美、佐藤博樹、蔡芒錫、三輪卓己（欠席：廣石忠司）

〔理事〕 安熙卓、石川淳、梅崎修、浦坂純子、戎野淑子、佐藤厚、須田敏子、福岡隆康、亀野淳、松繁寿和、八代充史、山本寛（欠席：江夏幾多郎、大内章子、永野仁、丹羽浩正、原口恭彦、細萱伸子、松山一紀）

〔幹事〕 風神佐知子、佐藤一磨、南雲智映

冒頭、常任理事・理事相互の挨拶、事務局からの挨拶を行ったのち、清家会長より、学会誌（機関誌）の WEB 上での公開、法人会員の拡大、国際交流の活性化、学会の会則・規定の見直しの 4 点を今後の重点課題としたいとの提案があった。

〔議題〕

1. 各種委員会、委員長及び委員の選任（案）について

1) 学会誌編集委員会、委員長及び委員の選任（案）について

三輪編集委員長より提案があり、原案通り承認された。

2) 学術賞審査委員会、委員長及び委員の選任（案）について

佐藤（博樹）学術賞審査委員長より提案があり、原案通り承認された。

3) 奨励賞審査委員会、委員長及び委員の選任（案）について

欠席の原口奨励賞委員長の提案を、蔡常任理事が代理で説明し、原案通り承認された。

4) 広報委員会、委員長及び委員の選任（案）について

坂爪広報委員長より提案があり、原案通り承認された。

5) 組織委員長の選任（案）について

清家会長より組織委員長として石川淳理事が推薦され、承認された。

6) 国際交流委員長の選任（案）について

清家会長より国際交流委員長として須田理事が推薦され、承認された。

2. 組織委員会の体制作り及び今後の活動について

石川組織委員長より「日本労務学会組織委員会規定（案）」について提案があった。また、組織委員会としては、今後法人会員の獲得に向けての取り組み、地方部会との連携・調整体制作り、他学会の評議委員会の決め方の議論を進めていきたいとの説明があった。議論の結果、第 2 条の（2）は「他の関係学会等への交流促進」と変更し、第 3 条の（4）は 2 期を超えて務めることはできない（連続 3 選は認めない）ように変更することが承認された。

なお、清家会長より、組織委員会、国際交流委員会以外の委員会の各種規定については、理事会として事務局に検討するよう提起された。

3. 国際交流委員会の体制作り及び今後の活動について

須田国際交流委員長より「日本労務学会国際交流委員会規定（案）」について提案があった。議論の結果、第 2 条の（1）は「海外からの研究者の招聘」、（2）は「国際コンファレンス・シンポジウム等の開催」、（3）は「その他、国際交流委員会が必要と判断する研究・交流・プロジェクトの支援」と変更すること、第 3 条の（4）は 2 期を超えて務めることはできない（連続 3 選は認めない）ように変更することが承認された。

4. 日本労務学会第 46 回全国大会（2016 年度）について

平野プログラム委員長より提案があり、議論の結果、原案通り承認された。また、併せてパネルディスカッションのコメンテータの人選について変更の可能性がある旨、説明があり、これについてはプログラム委員会に一任することとした。

5. 日本労務学会、学会誌の WEB 上での公開について

蔡常任理事、南雲幹事より、学会誌の WEB 上での公開について基本方針の提起および今後の課題に

についての説明があった。議論の結果、とりあえず新規掲載の論文等を順次 WEB 上で公開できるように準備を進めることが確認された。なお、学会誌編集委員会が投稿規定を検討し、著者（たち）が WEB 公開の権限を学会に委譲することに加え、著者（たち）による学会誌掲載内容またはその一部の使用は、学術的用途に限り編集委員会が認めることができる旨を盛り込むことを確認した。

6. 会員異動の承認手続きの変更について

南雲幹事より提案があり、原案通り承認された。

7. 本部事務局の所在地について

蔡常任理事より提案があり、123 回の常任理事会での決定通りに、事務局を（業務委託先である）早稲田大学国際ビジネス研究センターに固定せず、現状通り原則として会長の所属する研究機関に置き、学会の印刷物には「日本労務学会事務局」として国際ビジネス研究センターの住所を記載することが承認された。

また、日本労務学会会則第 4 条を「この会の事務局は原則として…」と変更することを承認した。

8. 各種外部団体との関係について

1) 日本経済学会連合の評議員の選出（案）について

蔡常任理事より「日本経済学会連合会への学会代表者（評議員）の選出に関する申し合わせ事項（案）」について提案があり、議論の結果、第 7 条の 2) を「…本部事務局への連絡を待って開始する」と字句修正したうえで、原案通り承認された。

2) 経営関連学会協議会の評議員の選出（案）について

蔡常任理事より「経営関連学会協議会への学会代表者（評議員）の選出に関する申し合わせ事項（案）」について提案があり、議論の結果、第 7 条の 2) を「…本部事務局への連絡を待って開始する」と字句修正したうえで、原案通り承認された。

3) 今期の委員について

清家会長より、日本経済学会連合の評議員を佐藤（厚）理事、八代理事に、経営関係学会連合会の評議員を坂爪広報委員長、横山前広報委員長に委嘱するとの提案があり、承認された。

4) 経営関連学会協議会からの要請について

蔡常任理事より、経営関連学会協議会から、2016 年度全国大会（同志社大学）の開催情報の提供、および協議会が発行予定の電子版英文ジャーナルへの

査読者 2 名の推薦の要請があった旨、報告を受けた。

9. 11 月会員異動（入・退会、再入会を含む）の承認について

風神幹事より 2 名の入会希望者があったことが報告され、全員の入会が承認された。

10. 学会誌英文要約に関する謝礼の支払いについて

石毛常任理事より、学会誌に掲載される英文要約のネイティブチェックに対する謝礼金の支払いについて提案があり、原案通り承認された。

11. 昨年度支出経費の本年度計上について

石毛常任理事より提案があり、原案通り承認された。

12. 大会実行委員会及び関東部会からの返戻金について

石毛常任理事より提案があり、原案通り承認された。

【報告事項】

1. 学会誌について

三輪機関誌編集委員長より、編集の進捗状況および論文の投稿・審査状況について説明があった。

2. 広報活動について

坂爪広報委員長より、学会報編集の進捗および今後の発行予定、学会ホームページの更新状況等について説明があった。

3. 各部会の活動について

各部会長（欠席の場合は佐藤幹事）より活動実績および予定について報告があった。

4. 各種委員会および部会幹事について

佐藤幹事より説明が行われた。

5. 本部会計（事務局への依頼による支払い）について

石毛常任理事より説明が行われた。

6. 日本経済学会連合での議論について

八代理事より日本経済学会連合での議論について報告があり、今後文部科学省による人文・社会科学系の学問を軽視する通知に対する署名などの依頼がありうる旨、説明があった。

7. 本部事務局の今後の活動・役割分担・メンバー追加の可能性について

蔡常任理事より説明が行われた。

8. 日本労務学会事務局の仕事について

南雲幹事より説明が行われた。

9. 第96回理事会について

・日時：2016年6月24日（金）時間未定

・場所：同志社大学

・議題、時間等の詳細：きまり次第連絡する

第124回 常任理事会 議事録

日時：2016年2月18日（木）14:00～17:00

会場：同志社大学 新町キャンパス

溪水館1階会議室

出席者：（敬称略、50音順）

〔会長〕 清家篤

〔副会長〕 石田光男、平野光俊

〔常任理事〕 石毛昭範、上林憲雄、坂爪洋美、佐藤博樹、蔡芒錫、三輪卓己（欠席：太田肇、廣石忠司）

〔幹事〕 風神佐知子、佐藤一磨、南雲智映

【議題】

1. 第46回大会実行委員会から（報告・相談・問い合わせも含む）

石田大会実行委員長から大会準備状況について説明があった。また、シンポジウムの時間帯の変更の可能性があること、自由論題論文の司会・コメンテーターへの送付方法としてオンラインストレージを用いること等を確認した。

2. 第46回大会プログラムについて

平野プログラム委員長より、自由論題の申し込みが53件あったとの報告があり、予定通り募集を締め切ることを確認した。また、今後のスケジュールについて、大会実行委員と連携をとり、自由論題セッションを組み、司会とコメンテーター候補を決めて依頼を行う旨報告があった。

3. 予算の執行状況などについて

石毛常任理事より「2015年度 経常収支決算書（仮）」に基づき、2016年2月15日までの収支状況について説明があり、原案通りの方針で進めることを確認した。

4. 学会誌の「発行所」の表記について

三輪機関誌編集委員長より、今回発行の学会誌の奥付にある「発行所」の欄に誤りがあったとの報告があった。また、今後の対応として表記の標準形を作成するとの提案があり了承された。

5. 「会則」の変更について

石川組織委員長および本部事務局の提案の会則変

更案について、蔡常任理事から説明があった。議論の結果、以下の3点が、確認された。

①第4条については、事務「所」を事務「局」へと修正する。

②第10条については、「法人会員」という文言は削除する。

③法人会員に関しては、別途、規程を作る。

④これ以外は、会則の変更は行わない。

6. 学術賞審査委員の著作の推薦について

佐藤学術賞審査委員長より、推薦件数が少ないため様々なルートで積極的に推薦するよう働きかける考えであるとの報告があった。続いて、審査委員の著作が推薦された場合にはその人を当該年度の審査から外すことを確認した。また、それに伴い、新しい審査委員の補充は行わない方針が確認された。さらに今後、学術賞審査委員会と機関誌編集委員会とが連携していきたいとの提起があった。

7. 学会誌のWEB上での公開について

南雲幹事、三輪機関誌編集委員長、蔡事務局より順次、学会誌のWEB上での公開、それに伴う投稿規定の見直し等について説明があった。議論の結果、投稿規定改定案を一部修正するとともに、二重投稿の注意喚起については今後、機関誌編集委員長と事務局とで議論を進めることを確認した。併せてJ-STAGE登録に必要な事務は事務局で行うことを確認した。

【報告事項】

1. 学術誌の編集状況について

三輪機関誌編集委員長より学会誌の編集状況について説明があった。

2. 広報活動について

坂爪広報委員長より、広報委員会活動の概要と課題について説明があった。また、広報委員会の今後の課題として、①広報委員会の規定づくり、②会員からの様々な要望がある中でHP・メールレターへの掲載ルールの作成の2点があるとの報告があった。

3. 学術賞選考の進捗状況について

佐藤学術審査委員長より、現時点で2件の学術賞推薦があったとの説明があった。

4. 研究奨励賞選考の進捗状況について

原口研究奨励賞選考委員長の代理として、蔡常任理事より研究奨励賞選考の進捗状況について説明があった。この際、奨励賞の選考対象について、次の2点が確認された。

- ①社会人大学院生の場合は、「発表」の時点ではなく、「申し込み」の時点で、社会人大学院生であればよい。
- ②既に40歳以上で大学の教員職についており、博士論文の取得などのために社会人大学院に在籍している者は、審査対象としない。

5. 2016年度、会員減少について

蔡事務局より、今年度の会員数の減少について

説明があった。

6. 第45回全国大会時の常任理事会及び理事会の日程について

・日時：

- 1) 常任理事会：2016年6月24日（金）15:00～
- 2) 理事会：2016年6月24日（金）17:00～
- 3) 理事会：2016年6月25日（土）12:10～13:10

・場所：いずれも同志社大学今出川キャンパス

・議題の詳細：いずれも追って連絡する。

7. その他

ワーキングペーパー、ディスカッションペーパー、科研費報告書をベースにした投稿論文については、その旨を明記することで投稿を認めることを確認した。

2015年度活動状況ならびに2016年度活動予定

〔北海道部会〕

日 時：2015年5月30日（土）14:00～17:00

場 所：北海学園大学7号館6階D601演習室

第1報告：

太田晴美氏（北海学園大学大学院）

「災害看護の人材育成」

第2報告：

野澤久美子氏（北海学園大学大学院）

「3D-CGクリエイターのしごとと能力」

◆2016年度は1～2回研究会開催予定。

〔東北部会〕

日 時：2016年2月27日（土）14:30～17:00

場 所：秋保温泉 蘭亭

第1報告：

杉田 博氏（石巻専修大学）

「東日本大震災後の地域と経営 ―復興大学の活動を通して―」

第2報告：

田村正文氏（八戸学院大学）

「地域振興・活性化に資する移住定住者の役割」

第3報告：

立岡みどり氏（目白大学大学院）

「就職活動における自己分析に対する信念に関

する研究」

◆2016年度は11月もしくは12月に研究会開催予定。

〔関東部会〕

日 時：2015年7月18日（土）15:00～17:00

場 所：早稲田大学早稲田（本部）

キャンパス11号館4階第4会議室

第1報告：

泉澤佐江子氏（早稲田大学大学院）

「『Public Service Motivation』に関する研究～先行研究レビューと今後の方向性について～」

第2報告：

寺村絵里子氏（明海大学）

「事業継承と新規開業に関するジェンダー分析」

◆2016年度研究会予定

第1回共通テーマ「雇用システムの国際比較」

日 時：5月21日（土）15:00～17:00

懇親会17:30～

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

58年館2階 キャリア情報ルーム

第1報告：

関口定一氏（中央大学）

『ホワイトカラー』を創る装置 -20 世紀アメリカ企業の雇用・人事制度」

第 2 報告：

八代充史 氏（慶應義塾大学）

「人的資源管理の日英比較 -これまでの研究と今後の展望」

第 2 回共通テーマ「HRM 研究にとって「自己啓発」は是非か？」

日 時：7 月 30 日（土）15:00～17:00

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

58 年館 2 階 キャリア情報ルーム

第 1 報告：

牧野智和 氏（大妻女子大学）

「労務管理からリーダーシップへ、時代診断からの心理主義へ」

第 2 報告：

速水健朗 氏（ライター・編集者）

「ラーメンと自己啓発」

第 3 回共通テーマ「質的労働調査の最前線」

日 時：10 月 1 日（土）15:00～17:00

場 所：法政大学市ヶ谷キャンパス

58 年館 2 階 キャリア情報ルーム

第 1 報告：

山下 充 氏（明治大学）

「労働調査におけるオーラルヒストリーの可能性」

第 2 報告：

田中研之輔 氏（法政大学）

「労働調査におけるエスノグラフィーの可能性」

*** 研究会開催 1 週間前までに、研究会と懇親会それぞれの参加有無を連絡ください。**

申し込み先：

法政大学キャリアデザイン学部 梅崎 修宛：

[umezaki \(アットマーク\) hosei.ac.jp](mailto:umezaki@hosei.ac.jp) ※@に変更してください。

1. 研究会参加の有無、2. 懇親会参加の有無

〔中部部会〕

日 時：2016 年 3 月 26 日（土）14:00～18:00

場 所：中京大学 名古屋キャンパス

センタービル 6 階 0606 教室

第 1 報告：

張 海燕（名城大学大学院）

「中国における都市観光と歴史的遺産について -中国青島市の事例をもとに」

第 2 報告：

梅 旦巴（名城大学大学院）

「2011 年における減価償却制度の改正に関する一考察 -原価償却制度の改正と企業の設備投資を中心として-」

第 3 報告：

桜井雅充（広島経済大学）

「HRM が従業員のアイデンティティ形成に及ぼす影響」

第 4 報告：

周 楊華（中央大学大学院）

「海外派遣者帰任時のキャリアについて」

〈所見〉

2015 年度末の本部会は、元部会長の大橋靖男先生（愛知学院大学名誉教授）の発案以降、2 年に 1 度の頻度で行われている、労務理論学会とのジョイントによる研究発表の場となった。第三報告と第四報告が、日本労務学会の会員の手になるもので、完成度の高い報告であった。

しかし、参加者の数が極めて限られたこともあって十分なディスカッションが行えない状況であり、研究会の内容、さらには中部地方で活動を行う会員のネットワーキングについて、何らかの「テコ入れ」が必要であることが痛感された。会員の方々のお知恵を頂きながら、2016 年度は報告者もそれ以外の参加者も互いに学びを得られるような場を作ってゆきたい。

◆2016 年度は、2016 年 9 月と 2017 年 3 月、あるいはそれらの前後に研究会を開催したい。

〔関西部会〕

日 時：2016 年 3 月 13 日（日）

場 所：近畿大学東大阪キャンパス 21 号館

8 階会議室

第 1 報告：

岩井貴美 氏（大手前大学）

「小売業店長による正社員登用に向けた契約社員の人材育成～外資系アパレル企業 X 社の事例」

コメンテーター 摂南大学 庭本佳子 氏

第2報告：

李 超 氏（大阪国際大学）

「キャリアとコミュニケーション」

コメンテーター 兵庫県立大学 當間克雄 氏

第3報告：

中原孝信 氏（専修大学）、大内章子 氏（関西学院大学）、宇野毅明 氏（国立情報学研究所）、羽室行信 氏（関西学院大学）

報告テーマ「出産時の就業継続と育児休業取得に関する意思決定要因の抽出」

コメンテーター 同志社大学 富田安信 氏

〈所見〉

報告によっては、コメンテーターと報告者のやりとりが白熱してしまい、フロアからの質問を受け付けることができなくなるような場面もありました。参加者が19名と、数は多くありませんが、とても内容の濃い例会になったのではないかと考えております。3つの報告に共通しているテーマは偶然ですが、「キャリア」でした。

◆2016年度は9月10日（土） 関西学院大学大阪梅田キャンパスで例会開催予定。

〔九州部会〕

日 時：2015年12月5日（土）14:00～17:00

場 所：九州産業大学1号館10階中会議室

第1報告：

伊藤精男 氏（九州産業大学）

「組織再編がもたらす組織成員の行動変化－アクターネットワーク理論に基づく分析－」

司会：石橋慶一 氏（福岡工業大学短期大学部）

第2報告：

浅岡柚美 氏（中村学園大学）

「福岡市内の大学生の海外における就業意欲に関する調査研究」

司会：福谷正信 氏（立命館アジア太平洋大学）

第3報告：

井上桂太郎 氏（九州大学大学院）

「日本型雇用システム形成の源流に関する考察：メンバーシップと『イエ社会』」

司会：脇夕希子 氏（九州産業大学）

◆2016年度は12月に研究会開催予定。

機関誌編集委員会からのお願い

機関誌編集委員会より、あらためて学会員の皆様に日本労務学会誌への投稿をお願いいたします。近年は投稿数、掲載される論文数等が増加傾向にあり、喜ばしい限りなのですが、さらなる内容の充実と日本労務学会の発展のために、より多くの方からの積極的な投稿をお待ちしております。また、同時に書評の対象となる書籍の推薦もお願いいたします。取り上げるに相応しい学会員による著作がありましたら、ぜひ日本労務学会事務局（jshrm@ibi-japan.co.jp）までご連絡ください。

なお、論文等の投稿の際には、それが未刊行のものであることをご確認ください。日本語以外で書かれたものであっても、すでに刊行されたもの（二重投稿になるもの）は受理できませんのでご了承ください。過去の学会発表やディスカッション・ペーパーを発展させた論文を投稿される場合は、それがわかるように過去の発表、文献名を明記（引用）してください。反対に、日本労務学会誌に掲載された論文を他の著作や発表に引用、転用される場合も同様にお願い申し上げます。

会 員 異 動

(敬称略、所属は入会申込書記載に準拠)

電子理事会承認分 (2015 年 11 月 30 日)

氏 名	所 属
加藤 昭	広島大学大学院社会科学部

第 95 回理事会承認分 (2015 年 12 月 20 日)

岩井 貴美	近畿大学大学院
渡辺 舞	(株)日本政策金融公庫

電子理事会承認分 (2016 年 1 月 31 日)

新井 規夫	自営 組織人事ストラテジスト
-------	----------------

電子理事会承認分 (2016 年 2 月 29 日)

本間 利通	大阪経済大学
江島 恒一	法政大学大学院政策創造研究科
橋本 良子	パナソニックエコソリューションズ創研(株)
守島 基博	一橋大学

電子理事会承認分 (2016 年 3 月 31 日)

栗岡 住子	大阪市立大学
陳 燕双	同志社大学大学院商学研究科

【退会会員】 (お申し出順)

古川 順一	福島文二郎	圓籐 吟史
田中 俊春	前川 卓三	梁 秋霞
杵崎のり子	児玉 敏一	百田 義治
羽石 寛寿	麻生 幸	河野 昭三
堀田 慎一	中丸 寛信	小槻 直史
亀村 治	上嶋 正博	山岡順太郎
臼井美奈子	貫 隆夫	青木 律子
松山 幸	荻野 千槍	西川 清之
川端 大二	古市 好文	

2015 年 7 月 31 日 電子理事会承認

記載に間違いがございましたのでお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

誤：高松侑也 → 正：高松侑矢

【除籍会員】

長期不明者 (2015 年度末現在で 4 年以上の不明者) 7 名

年会費長期未納者、他 (2015 年度末現在で 4 年以上の滞納者、初年度未納者) 11 名

会員総数 (2016 年 3 月末現在) 831 名

(うち海外会員 13 名) 法人会員 2 社

● 広報委員会からのお願い ― 出版情報の共有 ― ●

広報委員会は学会員間の出版情報を会報およびホームページ上で共有したいと考えています。2014 年 1 月 1 日以降に「単著」を、あるいは本の表紙に名前の記載がある「共著」、「編著」を出版された場合には下記の情報を日本労務学会リエゾンオフィス <jshrm@ibi-japan.co.jp> (株式会社国際ビジネス研究センター 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3 F) までご一報ください。

会員名、書名、出版社名、出版年月、および書籍の概要 (100 字を超えないこと)

学会員の書籍出版のお知らせ

(会報 Vol.94 発行以降に学会事務局に連絡があり、かつ 2014 年 1 月以降の出版物が対象。
単著、共著 (表紙に氏名があるもの))

種別	会員名 (所属)	出版名	出版社 出版年月日	概要
単著	三輪卓己 (京都産業大学 経営学部)	知識労働者の人的 資源管理 - 企業 への定着・相互作 用・キャリア発達-	中央経済社 2015 年 12 月	本書は複数の調査を通じた研究によって、 知識労働者の人的資源管理の実態と、そこ における知識労働者の企業への定着や相互 作用、ならびにキャリア発達を明らかにし ようとするものである。
単著	宮坂純一 (奈良学園大学 ビジネス学部)	ロシア経営学の 新潮流	昇洋書房 2015 年 1 月 20 日	ロシア経営学の動向を、CSR の教育・研 究に焦点を絞り、新しい概念がどのように 「摂取」されているのかという問題意識の もとで、整理する。労働 CSR に関しては モチベーションを中心に検討する。
単著	太田肇 (同志社大学 政策学部)	個人を幸福にしな い日本の組織	新潮新書 2016 年 2 月	会社・役所をはじめ、PTA・町内会、大学、 地方分権までを覆う「組織の論理」。それ が個人の自由を脅かすとともにワークライ フバランスやダイバーシティを阻害し、理 不尽な格差をもたらしている実態、そして 組織と社会の活力低下につながっているこ とを明らかにし大胆な改革案を提示してい る。
単著	願興寺ひろし (南山大学 ビジネス研究科)	What makes Toyota different from others?	丸善出版 2016 年 3 月 15 日	TPS の有効性を確認した上で、その公正 性を持続的に維持するための仕組みを、生 産現場の人事・労務管理及び労使関係の視 点から把握している。また研究対象を仕入 れ先に広げその全容を解明した点でも他に 類を見ない。

リエゾンオフィスから：メーリングリスト登録のお願い

日本労務学会の正規会員の方は、公式メーリングリストにご登録いただくと、学会からの研究会開催のお知らせ、各種情報を受けることができます。メーリングリストへの登録をご希望の方は、件名を「日本労務学会メーリングリスト登録希望」とし、①ご所属、②ご氏名、③希望所属部会（北海道・東北・関東・中部・関西・九州）を記載の上、jshrm@ibi-japan.co.jp までメールでお送りください。所属部会が判らない場合は、③記載は不要です。

ご登録済で、メールが受信されない場合は、@googlegroups.com からのメールが受信拒否されている可能性がございます。受信設定をご確認ください。

また、日本労務学会 HP 内、入会フォーム（入会案内→入会フォーム）においても、メーリングリスト登録のご案内を掲載しておりますので、ご活用ください。